

# 令和6年度 議会運営委員会 行政視察報告書

1. 視察日程 令和6年11月1日（金）

2. 視察先及び視察内容

愛知県半田市

「開かれた議会の醸成 議会のICT化推進と議会運営について」

3. 参加者

委員長 田代耕一

副委員長 川上秀範

委員 小林恵美子 菅沼芳徳 芹澤勝徳  
林義浩

議長 中島宏明

事務局 岩田晴美 浅子菜美

4. 視察先対応者

半田市議会

議会運営委員会 委員長 岩田玲子様

議会運営委員会 副委員長 石川英之様

議員 鈴木英華様

議事課長 新美恭子様

議事課 近藤千大様

## 5. 視察内容

### ■ 『開かれた議会の醸成 議会のICT化推進と議会運営について』

令和6年11月1日（金） 13:30～15:00

#### ≪視察研修の目的≫

- ・「開かれた議会」の推進のため、市民との交流事業を企画運営として令和5年度に実施した「第5回Qイズ！議会へGO！！半田の裏側を巡る探検ツアー」について内容、市民参加数、評価及び今後の計画・展望を伺う。
- ・議会のICT化の推進の計画、現況、課題及び今後の展望

#### ≪視察先の概要≫

半田市は、名古屋市以南、中部国際空港の東にあり、知多半島の中央部東側に位置し、古くから海運業、醸造業などで栄え、知多地域の政治・経済・文化の中心都市として発達。半田市の象徴は、「山車」・「蔵」等で、山車祭りの歴史は古く、300年余の歴史があり、その伝統や文化を現在に受け継いでいる。「はんだ山車祭り」は50万人もの観客が訪れる。

人口 116,391人（令和6年10月時点）

面積 47.42km<sup>2</sup>

#### 半田市議会

- ・議員定数 22名
- ・会派数 4
- ・常任委員会 3（総務委員会、文教厚生委員会、建設産業委員会）
- ・その他、議会運営委員会、政治倫理審査会、政務活動費管理委員会、議会広報誌編集委員会、議会PR委員会、議会ICT推進委員会、歴史・文化を活用したまちづくり調査特別委員会、公共空間の有効活用調査特別委員会

## 《視察内容》

開かれた議会にしていくために、議員自ら、市民が集まっているところに出向いていく姿勢を大切にし、議会基本条例にも市民との連携をうたい、交流事業など具体的な活動を行っている。

また、基本条例の検証、変更も行っており、基本条例の中で年2回開催することとしていた議会報告会は、参加者が減る一方であったため、市民が集まっているところに出向く方がいいと判断し、議会報告会については条例から削除した。

初当選議員と高校生の意見交換会である「そこまで話して委員会」や、小学生や中学生がクイズに答えながら半田市の裏側を巡るツアー「Qイズ！議会へGO！！」など、先進的な交流事業を実施している。

I C Tの推進では、タブレットの端末や市議会だより、ホームページを活用し積極的な情報の発信を行っていて、電子採決や、それに伴う議場内モニターの表示などを導入している。

また、傍聴者やY o u T u b e 視聴者へ議会の明確化が図られている。今後は委員会のライブ配信も予定されている。

請願書・陳情書の扱いでは、本人に来ていただき約3分以内で意見を述べてもらうこととしている等、新たな取り組み事例があった。



## 《 考 察 》

開かれた議会を目指し、今まで行ってきたことを見直していく必要性を感じた。例えば、半田市では、従来の基本条例を見直し年2回行われて来た議会報告会を削除して、議員自らが市民の集まっているところに出向き、市民と直接話すことに重きを置いたことで、生の意見を読み解くことが出来、市民の声が議会に反映されていく様子を感じることが出来た。本市議会でも参考にしていければよいと思う。

また、若い市民を巻き込んでいくため、小学5年生から中学生を対象とし、楽しくクイズを答えながら、若い年齢層と交流していくことが出来る、「Qイズ！議会へGO！！」を開催するなど、失敗を恐れず何でも「やってみよう」とする議会の前向きさを感じた。

「Qイズ！議会へGO！！半田の裏側を巡る探検ツアー」は興味深く、社会科見学のように親子で参加でき、議員がガイド役になることで、市民を身近に感じる事が出来る。アンケートをとることで、意見を聴くことができ、ホームページ等で情報発信することで、議会に関心を持ってもらえるだけでなく、次回の参加にも繋げられるので、継続性がある事業に思えるので参考にしたい。

I C Tの導入と効率化については、電子採決の導入やそれを議場のモニターに表示するなど先進的な事例や、委員会のライブ配信を検討中とのことで本市議会でも大いに参考になると感じた。傍聴者、Y o u T u b e視聴者など、市民から見た議会の透明性が図れると感じるので、今後I C Tを活用した様々なアイデアを出していくことの必要性を感じた。

この度の視察では、本市議会として市民が議会を身近に感じる事が出来る方法と、議員間で話し合う場所を設けて、実行していきたいことを検討していく姿勢が大切と感じた。

